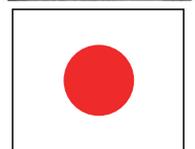


# 神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲揚しましょう。  
皇紀2681年  
一 阜 月 一  
5 月 号

発行所 道場 両丹 家  
舞鶴市字北吸 497 番地  
TEL (0773) 62-1443  
FAX (0773) 63-7861  
白鳩会 (0773) 63-5080  
発行人 伊藤 夏樹  
編集人 船木 悟

◎「自然と共に伸びる運動」の実現のため、神においてすべて一体の宗教心を多くの人に広げよう！  
◎第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



見方を変える（抜粋）

生長の家白鳩会総裁 谷口純子

人はどうしても自分中心に物事を考える傾向にあるが、少しその空間を広げて自分以外の人のこと、広い世界に目を向けることが、自分の意識を拡げ、狭い殻に閉じこもっていた考えから解放してくれる。そして改めて宝探しをするように、この世界に善はあるだろうか？と見ているのだ。すると現実の世界には悪や悲惨、悲劇はあるけれども、それ以上に喜びや美しさ、人々の助け合い、思いやりなどが満ちているということに気が付くだろう。

そのようなものの見方ができるようになると、重荷のように感じていた明るい心になるという積極的な生き方が、自分とはかけ離れたものではないことが分かる。この世界の善は実は身近にあり、そんなに難しくもなく、少し見方を変えればすぐ手の届くところにある。

道徳的に正しい生き方などというのではなく、人間の本性にはそのような生き方を望む心が本来あるからだ。ところがそれらが様々な思い込みや考え違いから、忘れ去られていたり、心の奥底に押し込まれていたりする。その心を認め、解放すると、生きることの喜びが感じられる。

（新刊書『森の日ぐらし』一五四～一五五頁）

『森の日ぐらし』を拝読しましょう

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

「論語読みの論語知らず」という格言があります。本に書いてある理論や理屈を知ってはいいても、実際の生活における行動が伴わないことを意味しますね。同類のものとして「医者の不養生」「坊主の不信心」などが新聞のコラムに紹介されていました。そして、そこにはコロナ禍の今の例えとして新しいものも。…「厚労省の大宴会」。これは笑えません。情けなく悲しくもなります。なるほど、知っているだけではダメだ、口先だけではダメだと、よく納得できました。

人間は自然界と共存しなければいけない、ともに繁栄しなければいけない——それが「大調和の神示」の教えであります。（『宗教はなぜ都会を離れるか？』一〇二頁）

ご存知のように、「大調和の神示」は生長の家の信仰の基本中の基本ですが、この神示は私たちに、ただ人に対する感謝和解の重要性を教えているだけではありません。総裁先生のご文章にある通り、私たちに、実生活において自然界と共存共栄することを求めているのですね。つまり、この教えの具体的生活実践が必要な

です。これまで幾千回と「大調和の神示」を読んだとしても、幾万回と感謝の言葉を唱えたとしても、生活が二酸化炭素の排出を意に介さない自然破壊、大量消費の経済活動に与するものであり、肉食も躊躇しない無慈悲な生活であるとしたら、これは「神示読みの神示知らず」とでもいべきものでしょう。

ところで、この度、新しく生長の家白鳩会総裁、谷口純子先生のご著書『森の日ぐらし』が発刊されました。推薦文を生長の家総裁、谷口雅宣先生がお書きになっています。生長の家創始者、谷口雅春先生は、輝子夫人のことを「私と共にどんな困難にもめげずに一緒に走りつづけてくれた妻」（『めざめゆく魂』序文）と形容されたが、これ以上適切に、純子氏と私の関係を表現する言葉は見つけられない。（同書一五八頁）と著者紹介された総裁先生は、上にも掲げた御文章から一部を引用されて、次のように本書を推薦されています。

こういう心の持ち方を「日時計主義」というが、これは決して現実逃避ではない。著者が現実をしっかりと見ていることは、本文中に明らかである。が、その上で、「夜があっても朝や昼を忘れず、明るい中で改善の道を進もう」と著者は言うのである。この人生への積極性に、私は

これまで何度救われたことか。コロナをめぐる悲観的ニュースが多い中で、特に将来のある若い人たちに本書を推薦する所以である。(同書一六〇頁)

推薦のお言葉にとっても感動します。その本書には、谷口純子先生が森の中の暮らしで体験された四季の巡りのなかの生活のエッセイ(一九本)、主菜からお菓子まで美味しい旬のノーマイトレシピ(二二品)、そして森の暮らしについてのコラム(六本)が、美しい自然の写真とともに収録されています。つまり、自然と共に生きるための、先生自らの生活実践のご様子がまとめられている、とても素晴らしいご本なのです。

私たちには、未来を生きる人たちに、住みよい地球を残す責任があります。そのための工夫だけでなく、自然を愛することで自分も喜ぶための生活実践が書かれています。一つでも二つでもご参考にしていただければ幸いです。(谷口純子先生、同書五頁)

この時期、外出がままならない状況であれば、これを好機として、新刊書『森の日ぐらし』をなおじっくり拝読し参考にしてください、「論語読みの論語知らず」ではなく、生活に具体的に反映させていくのはいかがでしょうか。私も今そう決意して大切に拝読しています。

**谷口純子先生著** 〈生長の家 白鳩会総裁〉

**森の日ぐらし**

八ヶ岳南麓の森に暮らし始めて八年目を迎えた著者が、自然と歩調を合わせて生きる事が人間本来の喜びであり、本当の「豊かな暮らし」であることを綴ったエッセイ。

▼A5判・168頁▼1100円

▼宗教法人「生長の家」刊



待望の新刊書！

「それぞれの名所」

青年会事務局長 渡利 あすか

去る四月の初め、全国各地で桜が見頃を迎えていました。しかし、例によって新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いわゆる桜の名所と呼ばれる場所では花見の自粛が呼び掛けられていました。(それでも人の動きはそれなりにあったようですが...)しかし周りに目を向けてみると、私の家の前にある河川沿いや、近所の総合公園に植えられている並木道、近くの小山の緑の中にポツンと一本だけ生えている桜の木など、身近にも花が愛でられる素晴らしい場所があります。有名な場所も良いですが、散歩がてら桜の木の間を歩くと、心ゆくまで堪能するのとても素敵です。自分だけの名所探しをするのも素晴らしいのではないかな、と思いつつ桜の写真の撮りました。



我が家のエコ生活

杉田 美千代

先日舞鶴市の広報誌に持続可能な社会の実現に向け、ごみ処理基本計画(案)として、令和十二年度までにごみの排出量を一人当たり一日五十グラム削減を目標としていました。令和元年度の舞鶴市民の一人一日当たりのごみの排出量が、八八四グラムだそうです。

個人的にごみを増やさないようにするには、当然物を買わず、増やさず再利用することになります。それでは生長の家では、FacebookのPBSのグループから、沢山の方の手作りのアイデアグッズ、お料理、お菓子等が投稿されていますので、とても良いお手本となり感心させられます。それにより、今までは手作りに興味があまり湧きませんでしたが、最近、頂いたゆずや家で採れた夏みかんで、マーマレードを初めて作りました。母も美味しいと言ってくれました。手作りの良さが実感出来ました。この様な経験を増やし、ごみを削減する生活を送りたいと思います。

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、「新しい文明」の基礎づくりに日夜ご挺身頂いておりますことに心より感謝申し上げます。

去る三月二十九日(月)十時～十時五〇分、ネットフォーラム研修会を開催致しました。参加者は三十三名でした。その中で伊藤真紀子講師が普及誌の読みどころを紹介くださいました。素晴らしい発表ありがとうございます。

また同研修の中で、伊藤夏樹教化部長ご指導のもと、機関誌三月号の谷口雅春大聖師の法語「陰極は必ず陽転する」の中で「どんな困難が現れようと、私たちは常に祈り、神観を實修し、神様と波長を合わせ習慣をつけておけば、常に神様の護りの中にある」とご指導頂きました。そして『新しい文明を築こう』上巻一六二、一八八頁を勉強させて頂きました。

― 行事のご案内 ―

令和三年五月度地方講師・光明実践委員ネットワークフォーラム研修会のご案内

日 時：令和三年五月三十日(日) 十時～十時五〇分  
テキスト：会員必携書『新しい文明を築こう』上巻(基礎編) 中巻(実践編)、『生長の家』機関誌 当月号、普及誌三誌NO.一三五(六月号)

※活動報告書は毎月十日まで提出して下さい  
※お願い申し上げます。

※令和三年度の地方講師会費三千円の納入をお願い申し上げます。



3月28日(日)10時～Zoomを利用して青少年ネットフォーラムが開催されました。

10名(初参加3名)の神の子さん達が、例文の中から好きな文章を選んでペン写経をしました。



## 5月度の対策部だより

### 普及誌購読者拡大

いつも普及誌をご愛読して頂きましてありがとうございます。コロナ禍において生長の家では、1年間のうちに新しい数々の試みをして頂き感動と感謝で一杯です。生長の家ネットフォーラムの仕組みにより、自宅などに居ながらにして一緒に講話ビデオを拝聴し、教えを学び感想を話し合うことが出来るようになりました。もちろん、普及誌を手にとって一読し感想を述べ合う誌友会も行われております。

話は変わりますが、日常ではスマートフォンが手元にあると、ついついスマホの情報を見てしまい集中力が下がり、睡眠の質も低下します。そんな時、普及誌3誌を取り出して読んでください。心が自然と前に向きになり、心が浄化されます。月刊誌の購読をよろしくお願い致します。

No,133『白鳩』「信仰随想」塩見富子連合会長、「歌壇：歌の森」網野峰山：赤岩邦子様、  
No,133『いのちの環』「俳壇」綾部総連：大槻紀子様のご投稿が掲載されています。

### 聖使命会員拡大

生長の家では、「人間は皆神の子である」という根本真理の自覚と、自信に満ちた明るく積極的な善き言葉がこの世を住み良くし、全ての人々を幸福に導くカギであると説いています。この人類の福音は、“人類光明化運動・国際平和信仰運動”として全世界へ向かって伝え広められ続けています。この運動の資金を会員の献金によって賄うのが「生長の家聖使命会」の制度です。「聖使命会」に入会されると病気が治ったり、事業が繁栄したり、子供が優良になったり、家庭が明るくなるなど幸福に満ち溢れた新しい生活が開けて来ます。献資という清らかな愛の行いを通して、全ての人々に本当の幸福をもたらす生長の家の運動に繋がるあなたが、幸福にならないはずはないのです。なぜなら「与える者は与えられる」という法則によって、あなたの愛の行いがあなたに返ってくるからです。しかし、「ご利益を得るために献金する」というのでは本当の愛の行いではありません。生長の家では、聖使命会員の方々に「聖使命菩薩」と呼び、讃えています。聖使命菩薩とは、「自分が救われるより先に、他の人を救ってあげたい」という愛他に励む尊い生き方を実践する方々のことです。こうした清い心の方々が聖使命会員なのです。さあ!!皆様素晴らしい聖使命会に多くの方の入会をお勧めしましょう!

### 支部・誌友会・会員

5月爽やかな季節となりました。空にはこいのぼり、親子で気持ちよく泳いでいます。見ていて父母を思い、元気に生活していることに感謝です。誌友会を待って頂いている誌友さんにも感謝です。

#### <うちんとこの誌友会>

東舞鶴総連です。支部長のライングループで投稿式の誌友会を毎月開催しております。開催者は、グループ内の講師が毎月交代で担当し、1週間程度の期間を決め参加お知らせします。期間内に、普及誌、機関誌、聖典をテキストにして、各々感想を投稿します。自分で気付かない箇所、見落としていた箇所を教えて頂くことによりとても勉強になります。そして、支部長の皆様の思いや日常生活も垣間見る事も出来て良きコミュニケーションの場になっています。投稿の苦手な方や、スマホでない方には、電話や訪問する等出来る方法で繋がり、交流して行きたいと思っております。

# 令和3年5月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	曜
〔相〕正副・地区連長会議(10時)【ネットフォーラム】		五者会議(10時)【ネットフォーラム】	〔道場休館日〕	〔白〕全体支部長会議【ネットフォーラム】(教区)献芳(10時)						〔道場休館日〕	●〔道場休館日〕子どもの日	●〔道場休館日〕みどりの日	●〔道場休館日〕憲法記念日		聖使(命感謝奉納祭)	本部・教化部行事
																教化部長
富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	休み	休み	休み	富永	近藤・藤原	早朝行事担当

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月
	〔講〕地方講師・光栄一日研修会(10時)及び同役員会・(10時50分)【ネットフォーラム】			〔道場休館日〕				評議員会・幹事会(10時)【ネットフォーラム】普及誌仕分け	〔白〕総連会長・対策部長担当会議(10時30分)【ネットフォーラム】		〔道場休館日〕	〔白〕正副会長会議(10時)【ネットフォーラム】	〔10時〕住吉神社月次祭(10時)【ライブ配信】	先祖供養祭(10時)【ライブ配信】
西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美

☆五者会議、各組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、先祖供養祭、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、活用ください。

- ☆自然エネルギー拡大運動募金ありがとうございます。  
・福村 廣子 10,000 円 (敬称略)
- ☆お賽銭ありがとうございます  
19,383 円
- ☆生物多様性募金ありがとうございます。  
2,100 円
- ☆祈り合いの神想観奉納ありがとうございます。  
46,700 円

**新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について**  
4月12日より京都市では蔓延防止法が適用されるなど日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況です。道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。